



Since 1997

The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 15 | Issue 1 | September 2011

➡ In this issue...

- ▶ Welcome to New Staff...p. 3
- ▶ IB Diploma Results...p. 7
- ▶ IE Junior Advisory Board...p. 7
- ▶ Library News...p. 8
- ▶ College Guidance News...p. 10
- ▶ PTA News...p. 12
- ▶ KIST Group 4 Project 2011...p. 15
- ▶ Brain Humanities in Borneo...p. 16
- ▶ Leap into LEAP...p. 17
- ▶ Young Leaders Conference...p. 18
- ▶ Asian Science Camp 2011...p. 19
- ▶ A Taste of University...p. 20

"Education's purpose is to replace an empty mind with an open one."

—Malcolm S. Forbes

From the School Director

2011-2012年度を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。今年からKISTコミュニティーに加わられた新入生のご家族の皆様を心から歓迎いたします。在校生のご家族の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

2010-2011年度の一年間は、日本を含め、世界中が予期せぬ数々の自然災害に見舞われた年でした。これは当校にもさまざまなかたちで影響を及ぼしました。2011-2012年度が始まって間もなく2か月目に入る現在、まだ世間の気分は薄暗いままですが、KISTが特別な場所であることを証明するような明るい話題をいくつかお知らせしたいと思えます。

KIST東日本大震災支援活動の取り組みのご報告と御礼

3月11日、1000年に一度と言われる大震災に見舞われ東日本は大変な被害を受けました。KISTでは震災直後からコミュニティーや近隣に呼びかけ、合計トラック約5台分もの支援物資を現地に届けてまいりました。

また、5回にわたって被災地に出かけ、炊き出しをし、海岸の清掃のお手伝い等をしてきました。

まず震災から2週間後の3月25日、宮城県の多賀城市にて第一回目の炊き出しを生徒2名を含む総勢24名で行ったことを始めとして、第2回目を4月16日総勢23名、第3回目を4月30日生徒13名を含む総勢36名、夜バスで現地に向かい、3か所の炊き出しを終わらせ、朝学校に戻るというハードスケジュールで行いました。

そして、第4回目を6月22日-25日生徒20人を含む総勢36名、第5回目を7月28日-30日生徒9名を含む31名で行い、夏休みの期間ということで、現地に2泊し、被災地の片付けも行いました。

その間、現地入りした保護者などKISTコミュニティーのメンバーと共に、合計9回、約7000食もの暖かい食事を被災者の方々に提供し、また、海岸2か所と避難所だった体育館の掃除、仮設住宅への備品のセットなど復興支援に関わることが出来ました。

Continued next page

DATES TO REMEMBER



September

- 19 School closed (National holiday)
- 20 Short Tuesday
- 20-22 Live@edu Training Sessions
- 22 (G5) Camp Explanation Meeting
- 23 School day
- 23 PTA Coffee Morning / Library Committee Meeting
- 23 MYP Parent Information Session
- 24 High School Drama Festival
- 27 (W) Free dress day
- 28 **"Date changed"** PYP Parent Information Session #1
- 28 **"Date changed"** (S) College Information Night
- 28-30 (G8) Camp

October

- 1 School Explanation Day
- 3 2012-2013 enrollment applications open
- 4-5 School photographs
- 4 Short Tuesday
- 5-7 (G5) Camp
- 10 School day
- 11-13 (G3/G5/G7/G9) ISA testing
- 12 (G10/G11) PSAT tests
- 14 KISTival preparation day
- 15 KISTival 2011
- 16-23 Autumn Break
- 24 (W) School resumes
- 25 Short Tuesday
- 28 (S) SRC dance

November

- 3 Parent/Teacher/Student interviews
- 3 Board of Directors meeting

Continued from previous page



炊き出し準備のお手伝いや支援物資への協力、また片付けなど多くの方々に多大なるご協力を頂きました。この場をお借り致しまして、お礼を申し上げます。

7月末をもって多くの避難所が閉鎖されたことに伴い、炊き出しは一旦終了と致しますが、今後も形を変えて支援活動を続けて行きたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

2011年度ディプロマ(DP)試験結果のご報告

5月に行われたDP試験の結果が7月5日に出了ました。2011年度卒業生16名全員がDP資格取得試験に挑戦し、14名が合格。合格率87.5%と2009年度の90%に次ぐ高い合格率となりました。

DP資格取得試験は非常に難易度が高く、IB校であっても受験率が50%にも及ばない学校が殆どですが、それでも世界の平均合格率は毎年70%台に留まっています。KISTのようにほぼ全員がDP資格取得試験に挑戦する学校は限られています。そのような状況を考えると、この結果は大いに賞賛に値します。詳しくは、7ページをご覧ください。

その他の取り組み

今年度、KISTは重要課題として算数/数学カリキュラムの大幅な見直しに取り組み、PYPからMYP、MYPからDPへスムーズに移れるよう戦略を強めます。また、生徒がどのような国や学校に転校しても困らないように、水準を高めて行きます。同じランゲージカリキュラムの見直しも行われています。また、パワースクールの導入により、生徒の学習状況を保護者や生徒自身が常に確認することが可能になります。それらの取り組みを通し、IB一貫校である強みを高め、頑張る生徒の成功をより確かなものにしていきます。

今年、教育のリーダーとなる総てのアドミニは、IBの豊富な経験を持っています。また、KISTの生徒を成功に導いてきた先生たちに加え、大勢の情熱と高いスキルを持った新任の先生を迎えることが出来ました。KISTの特徴はまじめでモチベーションの高い生徒と教育熱心な保護者が多いことです。そのような生徒と保護者と学校が三位一体となり教育に取り組むことで、2011-2012スクールイヤーがKISTとKISTのコミュニティーに取って飛躍の年となることを期待しています。

Kインターナショナルスクール
理事長/学校長代理 小牧義重

East Japan
Earthquake Relief
5th Trip
July 28 - 30, 2011



新しい先生のご紹介

本年度新たに着任し、学校コミュニティーの一員となった経験豊かで素晴らしい先生方をご紹介します。今年には日本国内でリクルートした先生やアシスタントのほかに、海外から多くの先生がやってきました。日本で暮らすのも働くのも初めてという先生が多くいます。東京に着いたのがちょうど夏の暑さのピークのところでしたが、引っ越しや引き継ぎも滞りなく行われ、エネルギッシュなスタートを切りました。新しい先生方を温かくお迎えし、素晴らしい年になることを祈っております。新任、継続を含め、すべての教職員のメールアドレスはスクールウェブサイトの **Contact >> Staff Directory** に出ています。



Faculty...



Marina Babaeva
MYP/DP Music



Christian Baker
MYP Math



Mridula Bardhan
DP Chemistry / MYP
Science



Brooke Boldon
MYP English



Alice Cheung
Grade 2A



Bruce Duxbury
MYP Design
Technology



Jim Erber
MYP PE



Keith Erickson
MYP/DP English,
Humanities



Benjamin Fishman
Student Welfare
Counselor



Megan Geshel
Grade 3B



Wendy Gore
MYP English,
Humanities



Kara Haines
MYP English,
Humanities



Elizabeth Heard
PYP Coordinator



Wyn Hughes
DP Psychology,
Economics



Andre Ito
MYP/DP Math



Taichi Komiya
Elementary English
Language Support



Chee Lee
MYP PE



Jay Leroy
PYP PE



Sindy Leveel
MYP/DP Math



Ferdinand Licuanan
Teacher-Librarian



Wilhelm Merchel
K1



Carolina Murgado
MYP English,
Humanities



Kevin Murphy
Secondary English
Language Support



Divya Okubo
K3B



Rachel Parkinson
Elementary English
Language Support



Eric Patterson
PYP Music



Vedrana Pavletic
MYP Coordinator /
MYP Art, Music



Allison Rabenau
Elementary English
Language Support



Kim Riemer
Grade 5A



Robin Scardino
MYP Math, Science



Katrina Sentgeorge
PYP Art



Aidan Siddall
Grade 5A



Michael Steele
MYP English,
Humanities



Agnes Theilen
Grade 4B



Anthony Theilen
Grade 2B



Jennifer Thomas
MYP Math, Science



Paige Venturino
K3A



Rob White
MYP/DP Language B

*New teachers making
yakisoba with the help of
our Japanese staff.*



Other staff...



Catrina Christian
Teacher's Assistant
K1



Robert Collins
Teacher's Assistant
K1 / K1, K2 Music



Darina Dubenko
Teacher's Assistant
Grade 1B



Leslie Hynes
Teacher's Assistant
Grade 1A



Mari Nameshida
School Nurse



Eri Nomura
Elementary
Administration Assistant



Mackensie Roland
Teacher's Assistant
K3B



Jude Ross
Teacher's Assistant
K2 / K1, K2 Art



Tyler Silvasti
Teacher's Assistant
K2



Ai White
Teacher's Assistant
K2

We wish all staff the best for a great year!

Elementary School News

Three C's for our students

学校の良さ、教育の質、これらはそれぞれの学校のひとつひとつの選択によって左右されるのだと思います。すばらしい学校には、子ども達にとってのベストを考え、次なる決定へつなげていくことのできる環境があるのではないのでしょうか。今年度は3つのC、Commitment(コミットメント)、Curriculum(カリキュラム)、Communication(コミュニケーション)の中で確かな選択していくことで、子ども達にとってよりよい教育環境を提供していただくことができたらと思っています。

Commitment

KIST Elementary Schoolにおける教育は、PYPプログラムの理念に基づき展開されています。PYPプログラムを教えることは容易ではありませんが、子ども達にとってよりよい教育、環境づくりのため、研究を重ねる教員・スタッフの姿があります。

研究・研修、準備の時間、また教員間の協力体制を維持・確保するため、それぞれに対する時間を設けるようにも努めています。

ITの導入も積極的に行い、デジタルカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、デジタルプロジェクターの設置・オンラインソフトウェア・教材の利用、保護者の方へのLive@eduの導入などKIST創立以来の新たな取り組みが次々とみられています。子ども達が社会の一員として成長していくうえでの教育・経験がより豊かになることを願っています。

Curriculum

探究のプログラム向上の一環として、これまで行われてきた内容に加え、カリキュラム計画の詳細や文書化にさらに取り組んでいく予定です。

それぞれの学年では、言語と数学の統合学習を探究のユニット内外、また年間を通して、どのように行っていくのかを分析し、まとめる作業を行っています。近日中に年間計画として、各クラスのウェブサイト、またMr Brunton's Cornerでご紹介させていただきま

す。カリキュラムは、計画だけではありません。一人ひとりのお子さんにそれぞれの学年で一貫した教育が提供されることによってこそ大きな意味を持つものとなります。そのため、当校としましては、一貫したプログラムが展開され、その内容が保障されるよう図書室の蔵書を増やし、検索ソフトウェアを導入するなどさらなる資料、教材環境の整備を行いました。カリキュラムの一層の充実につながることでしよう。

Communication

コミュニティとはよりよい人と人とのつながり、コミュニケーションによって築かれると思います。当校では、オープンコミュニケーションによってこそよい関係が生まれ、学校がひとつのコミュニティとして一体となっていくと考えています。インフォメーションセッション、コーヒーモーニング、懇話会、



Live@edu、Moodle、ニュースレター、保護者会など保護者の方とかわる機会、方法をより多く持ち、積極的にコミュニケーションを図っていきたくと思っています。PTAもたくさんの保護者の方からのサインアップとともに今年度の活動をはじめています。

また、エレメンタリーでは、ポートフォリオによるお子さんの学習記録や面談の機会に加え、書面による学習状況のお知らせを年4回に増やし、さらなるご家庭との連携を図っていく体制となりました。また、K3-G5全てのお子さんに対して年3回読解力の考査、G1-G5には(G3、G5のお子さんにつきましてはISA テストのほかにも)年2回数学力の考査を行っていくこととなりました。継続して学習状況を見守り、また様々な角度からお子さんの様子をお知りいただくことがまたコミュニケーションのひとつとなればと思います。エレメンタリースクール教員・スタッフ一同、子ども達にとってよりよい環境づくりに全力を尽くしてまいります。今年度は、エレメンタリースクールにとってこれまでで一番の年となるのではないのでしょうか。期待しています。

Greg Brunton
Elementary School
Principal



Mr Brunton



Secondary School News

KISTファミリーの皆さん

こんにちは

2011-2012学年度は順調なスタートを切りました。4週目を迎え、多くの設備の強化導入も首尾よく進んでいます。4月に学校全体を通してコンピューターのワイヤレス化が行われたのに加え、ライブラリーメディアセンター (LMC) に新しいラップトップが補強されたことは生徒、教師とも同様に評判になっています。改装された LMC は授業前、休憩時、放課後に多くの生徒が集うエリアになってきました。DP の生徒にとっても予定された自習時間のための最適な場所になってきています。これらの設備の強化は構成主義を支え、あるいは生徒中心の学習をサポートするカリキュラムの範囲内でテクノロジーの統合を求める学校の IT プランをサポートします。構成主義的な教育設定において、生徒は直接講義を通して知識を吸収する受動的な受領者として受け止められるのではなく、むしろ探究を通して能動的に知識を構築する一方、自身の学習に責任を持つ自発的学習者としてみられます。テクノロジーの使用で授業を離れても学習が継続出来、生徒が教師や仲間のクラスメートと交流する機会も増えます。意図するところは生徒が KIST で長年慣れ親しんできた伝統的なチョークを使い、講義する教育から離れることです。

保護者歓迎会

今年のペアレントウエルカムナイトに参加頂いた保護者の皆さん、ありがとうございました。多くの保護者の皆さんから構成がとても参考になることが分かったとの評価を頂きました。参加されなかった皆さん、質問などございましたら遠慮なく担任教師あるいは私に直接 eメールして下さい。

Live EDU

- 新しい eメールシステム

ペアレントナイトで話し合ったように、学校は新しい eメールシステムを導入しました。教師まで連絡出来るために、以下のフォーマットをご使用下さい。

名前. 姓名@kist.ed.jp

例えば、私に直接連絡する場合は以下に eメールして下さい。

stephen.rothkopf@kist.ed.jp

新しいセカンダリーブログ

全てのご家族の皆さんが学校の新しい eメールシステムを紹介されましたら、通常の最新情報更新は Moodle を通して送られます。生徒が個々の科目専任教師から最新情報を受け取るのと同じような方法です。セカンダリーのブログには一つの便利な場所として重要な書類や通知も送られます。たびたびチェックするようにして下さい。

学年別旅行

今年、私たちは3つの旅行を計画しています。環境問題に焦点を当て、学校に居ては味わえないユニークなアクティビティを生徒に提供するように



デザインされています。詳細は追ってご案内致しますが、以下の日程を心に留めておいて下さい。

- 9月28日～30日 (Grade 8)
- 11月9日～11日 (Grade 6)
- 3月7日～9日 (Grade 10)

敬具

Stephen Rothkopf
セカンダリー校長



Mr Rothkopf



Secondary Class Times

Homeroom	8:30-8:35
Block 1	8:40-10:00
Block 2	10:05-11:30
Lunch	11:30-12:15
Block 3	12:20-13:45
Crossover	13:45-13:55
Block 4	13:55-15:20



Long Tuesdays

Homeroom	8:30-8:35
Block 1	8:40-9:45
Block 2	9:50-10:55
Lunch	11:00-11:45
Block 3	11:50-12:55
Block 4	13:00-14:05
Crossover	14:05-14:15
Advisory	14:15-15:20

Short Tuesdays

Homeroom	8:30-8:35
Block 1	8:40-9:45
Block 2	9:50-10:55
Lunch	11:00-11:45
Block 3	11:50-12:55
Crossover	12:55-13:05
Block 4	13:05-14:10



IB Diploma Results

夏休みの間に2011年度クラスのIBディプロマ結果が公表されました。以下の表は今年の受験者並びに2008-2010年度卒業生の成績の要約です。

卒業年度	KIST平均点	IBディプロマ受験者	IBディプロマ合格者数	合格者平均点	KIST最高点*	世界平均点**
2011	30.5	16	14	32	40	TBA
2010	27.05	18	11	30	38	29.55
2009	31.80	10	9	32	45	29.51
2008	30.88	8	5	35	39	29.57

*45点満点

2011年度クラスの結果はとても素晴らしいものでした。16名中14名の生徒がIBフルディプロマ資格を授与されました。9名の生徒が30点以上のとても素晴らしい成績を取めました。今年の最高得点は40点の素晴らしい成績でShreyaが獲得しました。おめでとうShreya。その他の素晴らしい成績はMaung Pyay Phyoの37点、FayeとJacobの35点でした。また特筆すべきことに、6名の生徒がバイリンガルディプロマを授与されました。彼らは英語と日本語を共に第一言語として学びました。KIST卒業生の3分の1がバイリンガルディプロマを授与されたことは世界平均以上です。さらに今年注目すべきことに、エキстенディットエッセイで4名が最高得点のAを授与されました。

IBディプロマの結果についてもっとお知りになりたい保護者の皆さんは<http://www.ibo.org/diploma/assessment/results>を訪問下さい。IBはStatistical Bulletinを刊行しており、IBディプロマの結果を要約しています。このウェブページからリンク出来ます。2011年5月の試験結果は11月に刊行されるStatistical Bulletinに掲載されます。

生徒の皆さん、DP成功おめでとうございます。12年生の全教師の皆さん、昨年からのご苦勞ありがとうございました。

Mark Cowe

セカンダリー副校長 / IB ディプロマコーディネーター



IE ジュニアアドバイザーボード

今年の4月私は、スペインのIE大学のジュニアアドバイザーボードミーティングに参加するためにスペインに行ってきました。私は、ボードメンバーのひとりとして、世界中から選ばれた他の11人の高校生と共に、大学での教育の目的やどのような大学生活を期待するかについて話し合い、意見を交換しました。

スペイン滞在中は、ミーティングやワークショップの予定が目白押しでしたが、その地方の文化を経験することもできました。第一日目は、IEビジネススクールのマドリッドキャンパスを見学し、その後IEの学長や教授陣との夕食会がありました。

翌朝からはIE大学のセゴビアキャンパスで大学の教授が開催した、イノベーション、社会企業家、多様性についてのワークショップに参加しました。私たちは、IE大学がこれらのコンセプトを大学カリキュラムを通して推進できるのではないかと話し合いました。最後に私たちは、提言をまとめ、名だたる会社のCEOや社長など経験豊富なリーダーがメンバーを勤めているIE大学の国際評議委員会 (IAB) に向けて発表しました。発表のあとの昼食会では、国際評議委員会のメンバーの方とさらにお話しする機会も持てました。最初は

ちょっと怖かったのですが、とても光栄なことでした。



他にもスペインのフラメンコショーを見たり、プラド美術館を見学したり、セゴビア市内ツアーやマドリッドのダウンタウンでタパスディナーをいただいたりしました。

この経験—海外を一人で旅するのは初めてでした—は、私にとって非常に貴重で豊かな経験でした。IEコミュニティーは私たちを温かく迎えてくださり、知的刺激に満ちた教育者やIABメンバーからいろいろと学ぶことができとてもうれしく思います。また、コロンビア、ヨルダン、インド、ペルー、レソト、アメリカ、チェコ共和国、スペインを代表してやってきたジュニアアドバイザーボードメンバーと会い、お友達になる機会がもてたことにも感謝しています。全く新しい環境に身を浸し、大学生活について学んだことは本当に特別な経験となりました。JABについてや応募の方法についてはウェブサイト <http://www.jab.ie.edu> をご覧ください。

Monica (G11C)

Library News

KISTライブラリーへようこそ！

この夏、私たちは新年度に向けライブラリーを準備するため大変忙しく過ごしてきました。夏休み中にライブラリーのために時間をさき、お手伝いくださった保護者の方々、生徒には改めてお礼を申し上げます。あなた方のおかげで

ライブラリーには両方とも大きな変化がありました。

Main Buildingの二階に位置する元Main Libraryは夏休み中に全面改装が行われ、広くなったReading Areaと2つのDP防音小部屋をもつQuiet Study AreaにわかれたMYP・DP 生徒向けのLMC(Library Media Center)となりました。

そしてWest Building 3Fの元Junior Libraryも今年度さらに新しい書棚、家具を入れK1-G5のPYPの生徒向けのElementary Libraryとして始動しました。

LMCでは新しくクラス用・DP生徒の学習用のノートパソコンを置いてあります。

ライブラリースタッフ

Anna Findlayは今年度からElementary Librarianとなり、心地よいElementary Libraryで子どもたちに素晴らしい本を見つけ、読書や情報探索スキルの上達を奨励します。

吉本智子はLMCのLibrarianとして日常の運営を行っています。もしライブラリーやライブラリーの資料(ノートPCやオンライン資料)についての質問があれば彼女へどうぞ。

今年度からのライブラリストッフとして、司書教諭のAndi Licuananを歓迎してください。彼は情報リテラシーを教え、教員生徒への学習、情報探索

をサポートします。また彼はDPのIndependent Studyを担当します。

ライブラリーの新システム

KISTのライブラリーでは夏以降Destinyを我々のサービスとして提供しています。Destiny Library ManagerはFollett Companyの蔵書管理と図書館運営を行うためのソフトウェアパッケージです。日本や世界において多くのK12インターナショナルスクールが利用しています。

Destinyはとても使いやすく、Librarian、教員、生徒の協力を推進することができます。また蔵書やウェブ検索、予約、返却期限の延長をオンラインで行うことができます。ユーザー誰もが資料リストを作りそれをシェアすることができます。なによりも24時間いつでもどこからでも利用することができます。

DestinyはLMCのMoodle Page、Elementary Library Moodle Pageのリンク、または直接 <https://kist.follettdestiny.com>から利用することができます。

生徒はLive@EduとMoodleと同じアカウント、パスワードを使いログインできます。

その他に学校提供のオンラインリソースとしてQuestiaとEncyclopedia Britannica Onlineがあります。

QuestiaはSecondary生徒に向け何千もの本、雑誌記事など最新の情報が検索・閲覧可能です。

Britannicaは全校生徒が利用でき、安全で年齢に応じた情報の検索や閲覧ができます。生徒はElementary, Middle School, High Schoolの3つのレベルから検索でき、課題に使える



Ms Findlay



Ms Yoshimoto



Mr Licuanan

最新の記事や参考サイト、また様々な機能や、記事に関する音楽・動画、ゲームなどを楽しむことができます。

QuestiaはLMC Moodle Pageから <http://www.questiaschool.com/> からBritannica OnlineはLMC Moodle Page, Elementary Moodle Page, Mr. Brunton's Cornerから利用できます。

開室時間

LMC

8:00-16:30 (Short Tuesdayを除く)

Elementary Library

8:00-16:30 (Short Tuesdayを除く)

Elementaryの生徒は放課後図書館を利用する場合は保護者の同伴が必要です。図書館では保護者の利用も歓迎しています、貸出用アカウントの設定については図書館スタッフまでお問い合わせください。

もし本のカバーかけや資料を棚に戻すお手伝いをしていただけるようでしたら、PTAのLibrary CommitteeかLibrarianにお問い合わせください。また資料の寄付を希望される方は、まずライブラリーが必要としている資料かどうかをご確認ください。

今年最初のLibrary Committee Meetingを9/23 10:30 からLMCで行います。どうぞ興味のある方はご参加ください。

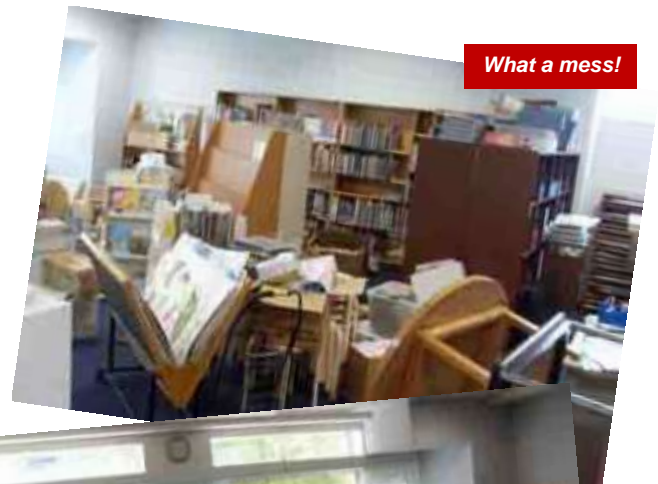


新しいライブラリーで
皆さんに
お会いできることを、
楽しみにしています！

Elementary Library



Before



What a mess!



New books display, reading area, and non-fiction



Study area and picture books



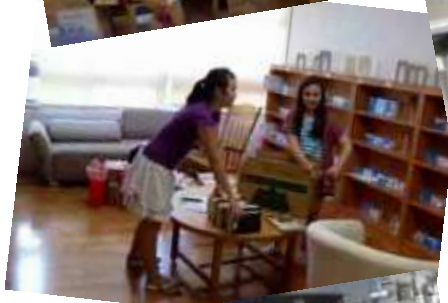
Library Media Center

Student and parent volunteers unpack in the new LMC ↓

Packing up the old Main Library ↓



Entry area



Class work area



Teachers and students working in the quiet study area

College Guidance News

こんにちは！KIST カレッジガイダンスカウンセラーの奥出桂子です。夏の間もカレッジガイダンス オフィスは休みなく、KIST在校生や卒業生からのいろいろなリクエストに答えていました。2011年度卒業生が新たな学問生活を始める場として選んだ大学へ、学校の最終成績表を送って欲しいというリクエストもその一つです。大変うれしいことに、2010-2011年度もまたKIST卒業生が成功を収めた年となりました。これからさらに、オーストラリアや日本の大学に出願している生徒からの朗報が届くことでしょう。2011年度卒業生の合格実績については下のリストをご覧ください。

2011年8月31日現在 太字は進学先

KIST 2011年度 大学合格実績

星印(*)は奨学金付き合格

USA

Purdue University | **University of Chicago*** |
Michigan State University* | Clark University* |
 California Institute of Technology |
 Worcester Institute of Technology* |
 Wake Forest University | University of Southern California* |
 Marist College* | Pacific Lutheran University* |
 University of Massachusetts* |
 State University of New York at Binghamton* |
Boston University* |
 State University of New York at Stony Brook |
Northeastern University* | University of Miami* |
 Rice University*

UK

University of Sheffield | University of Manchester | University of
 London (School of Oriental and African Studies) |
 University of Kent | University of Sussex |
University of Leeds | University of Saint Andrews |
 London School of Economics and Political Science |
 University of London (Royal Holloway) |
 Kingston University | University College London |
 Staffordshire University | **University of York** |
 HULT International Business School

JAPAN

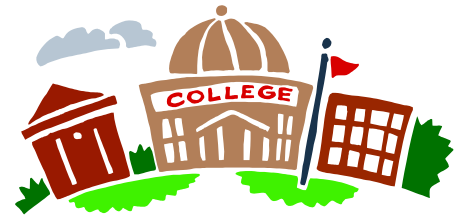
Waseda University | Lakeland College

カレッジガイダンスイベント情報: 2011秋

KISTでの大学説明会 (G10 から G12対象)

大学説明会に出席して各大学代表者に直接会って話を聞きましょう！保護者の方の参加も歓迎します。

- Colgate University, Skidmore College, Kenyon College, Northeastern University, Colorado College, St. Olaf College, USA
Thursday, September 8 | 9:00 am – 10:00 am
- IE University, Spain
Friday, September 9 | 3:30 pm – 4:30 pm
- SCAD (Savannah College of Art and Design), USA
Thursday, September 15 | 3:30 pm – 4:30 pm



- **King's College London, UK**
Monday, September 26 | 3:30 pm – 4:30 pm
- **Brown University, USA**
Tuesday, October 4 | 2:20 pm – 3:20 pm
- **ICU (国際基督教大学), Japan**
Thursday, October 6 | 3:30 pm – 4:30 pm
- **UBC (University of British Columbia), Canada**
Monday, October 10 | 3:30 pm – 4:30 pm
- **University of Connecticut, Binghamton University (SUNY), University of Oregon, USA**
Friday, October 14 | 3:30 pm – 4:30 pm
- **PLU (Pacific Lutheran University), USA**
Monday, October 24 | 3:30 pm – 4:30 pm
- **同志社大学、京都、日本**
Friday, October 28 | 3:30 pm – 4:30 pm

大学フェア

- **Education UK (The British Council)**
場所: Grand Hall Shinagawa
開催日: Sunday, October 2
時間: 1:00 pm – 7:00 pm
- **Discover Australia! Australia University Fair 2011**
場所: 恵比寿(EBIS303 4F)
開催日: Sunday, October 2
時間: 1:00 pm – 6:00 pm

KIST College Information Night

場所: KIST 体育館

開催日: Wednesday, September 28に変更されました。

時間: 6:00 pm – 8:00 pm

セカンダリー生徒のご家族のための大学進学に関する基本情報セッションです。セカンダリーの生徒保護者はどなたでも参加できます。今回は世界の大学進学に関する基本的な一般情報や大学でのIBの認知度について説明します。質疑応答の時間も設けます。G11とG12へのさらに具体的な情報は、奥出との個人またはグループミーティングでお伝えします。

PSAT テスト(G10 とG11)

Wednesday, October 12 (授業時間中に行われます)G10 生徒は全員が受けます。G11 生徒にはオプションになります。詳細は別途お知らせします。

大学進学に関するお問い合わせは、奥出桂子まで。

Mrs Keiko Okude

College Guidance Counselor

オフィスパワー: 月、火、木、金 |

10:00 am – 5:00 pm

keiko.okude@kist.ed.jp



Mrs Okude

短縮火曜日

学校全体で教員が協働で授業計画を立てる時間を確保するというIB必須要件に基づき、当校ではあらたに「短縮火曜日」をもうけることになりました。

短縮火曜日は全校の下校時間が午後2時10分になります。K1から12年生までの全校生徒はこの時間までに学校敷地内から退出しなければなりません。この日にはアフタースクールアクティビティーやK1からK3生徒のためのアフターケアもありません。ただし、放課後の別プログラムLEAPの授業は行われます。

今年度は全部で18日間の短縮火曜日が設定されています。

September 6, 20
October 4, 25
November 8, 29
December 13
January 17, 31
February 14, 28
March 13
April 3, 17
May 1, 15, 29
June 12

TUESDAY

フリードレスデー

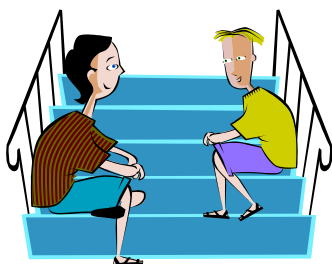
スクールカレンダーにも掲載しましたが、2011-2012年度のフリードレスデーは次の日を予定しています。

September 27 (Tuesday)
November 30 (Wednesday)
February 10 (Friday)
May 24 (Thursday)

この日は**全校**フリードレスデーとなります。別途お知らせは配布いたしませんので、ぜひカレンダーにしるしをつけておいてください。この日に私服で登校した生徒はひとり200円を支払わなくてはなりません。

フリードレスの日に着用する服は、学校のイメージを壊さないような物であるべきです。各ご家庭で十分ご配慮ください。さらに、生徒は通常の学校ドレスコードに従わなければなりません。ドレスコードについては、学校ウェブサイトのスクールハンドブック (Admissions >> Documentation) をご覧ください。

9月27日が最初のフリードレスデーでテーマは「スポーツ」です。この日は生徒のお気に入りの、ス



スポーツチームや選手のロゴなどがついた服をぜひ着用して登校してください。

集めたお金はPE部門の資金に充てます。

駐停車について

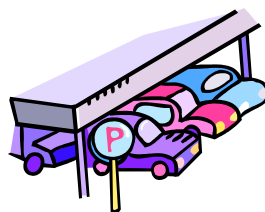


お子さんを自家用車で送迎されている方は、**学校付近の道路にはどんなに短時間であっても駐停車することはできません**の

で、十分ご承知おきください。通常の授業日だけでなく学校行事日の送迎も同様です。近隣から駐停車違反の連絡があった場合は、学校から必ず警察に通報いたします。

また近隣からの要請により、正門前の道路は**一方通行**となっています。清澄通りのコンフォートホテルの角から入り、赤札堂横の道へ通り抜けるようお願いいたします。

近隣住民や商店事業所などと良い関係を保つためにも、きちんと交通規則を守り、公共駐車場を利用し、駐停車はしないでください。



地域コミュニティのルールを守りましょう。皆様のご協力をお願いします。

家でできる算数のゲーム

お子さんが楽しくて役立つ算数を学ぶために、ご家庭で遊べるゲームがいろいろあります。身近にあるものを使って家で遊べるのでお勧めです！



トランプゲーム

下記のサイトには普通のトランプを使ったたくさんの楽しいゲームがでています。

<http://letsplaymath.net/2006/12/29/the-game-that-is-worth-1000-worksheets/>



サイコロゲーム

サイコロを使った楽しいゲーム

http://www.family-games-treasurehouse.com/math_games_for_kids.html



フラッシュカード

フラッシュカードを使ってオリジナルのゲームを作りましょう。テンプレートはMoodleのMr. Brunton's Cornerからダウンロードできるようにします。

楽しんでくださいね！

Kevin Yoshihara
Elementary Mathematics Coordinator

PTA News

皆様はじめまして。

新しく始まりましたPTAは、全ての生徒やご家族が安心して楽しく活動的なスクールライフが送れるようにスクールと協力しながら運営していきます。月に一度PTA Executiveメンバーのミーティングを第1水曜日14時より開いております。この会議にはスクールの校長をはじめ学校教職員の方にも参加していただき、毎月の議題やスクールからの提案等を話し合います。必要があれば各委員会の代表者にも参加していただき、委員会の活動もサポートしていきます。



PTAのことに関してご質問、ご提案、ご要望等お持ちの方は、いつでも私たち役員にご連絡ください(PTAへのEmailアドレスが準備出来次第皆様にお知らせいたします)。場合によって会議に参加して頂き、適切で建設的なお返事ができるように話し合っていきます。PTAでは解決できないことやスクールへ直接ご相談いただいた方がよいと判断した内容の場合には、対応できる学校担当責任者へご案内いたします。

"PTA Coffee Morning"
September 23 (Friday) | 9:00 am
Secondary Lunch Room
Please bring a plate of food to share.

このミーティングの他にもお友達を作ったり気軽に意見交換できる場としてコーヒーモーニングや楽しいイベント等も各コミッティーと協力して行っています。学校と共にコミュニティー全員でKIST PTAを作り上げていきましょう。1年間よろしくお願いたします。

Akiko Inoue

PTA President, on behalf of the PTA Executive

PTA Executive Committee 2011-2012



Akiko Inoue



Mitsuka Ishikura



Scott Smith



Charlotte Jacobsen

President: Akiko Inoue (Emiri G5A, Taisei G10A)
Vice President: Mitsuka Ishikura (Hikaru G6A)
Treasurer: Scott Smith (Shu G10A)
Secretary: Charlotte Jacobsen (Harriette G2B, Magnus K3A)

Newcomer's Committee

PTA Newcomer's Committee は、新たに入学されたお子さんとご家族の皆様を心より歓迎いたします。KISTivalなどの行事で皆様とお会いし、一緒に活動できることを楽しみにしております。9月23日のコーヒーモーニングにもぜひお越しください。コミッティーメンバーの連絡先については追ってお知らせいたします。

Tracy Silvasti, Newcomer's Committee Chair

Staff 10!

今月のStaff 10! は、今年KISTに着任された **Benjamin Fishman** 先生をご紹介します。先生は全校生徒を対象としたスクールウェルフェアカウンセラーです。



Mr Fishman and his saxophone.

Mr. Fishmanとその多岐にわたる趣味について伺いました。

● ご出身地について面白いことを教えてください。

私は、アメリカ、コロラド州のコロラド市の出身です。コロラドは、世界でも有数のスキーリゾート地として知られています。息をのむような素晴らしい景色とワールドクラスのスキー場は観光の目的地として高く評価されています。主な見どころは、ロッキー山脈国立公園、カリカンティ国立保養地、メサヴェルデ国立公園、グレートサンドデューン、恐竜国定公園、コロラド国定公園、ブラックキャニオン国立公園などです。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

日本！日本では2夏を過ごしたことがあります。長野、岐阜市、神戸、大阪、東京を旅行しました。この5年ほど、日本に移り住むというのが私の夢でした。

● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

ルイ アームストロングです。私としては、彼はこれまで実在した最高のミュージシャンだと思います。ルイ アームストロングは、ルイジアナ州ニューオーリンズの貧しい家庭にうまれました。彼はまだ当時始まったばかりのジャズを今日の芸術にまで高めた一人者です。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

ロサンジェルスやコロラド州デンバーでプロのミュージシャンをしていました。私はクラシックのクラリネット奏者となるべく訓練を受け、幸運なことに一流の先生方に習うことができました。プロの木管楽器奏者として、クラリネット、サクソフォーン、フルートを演奏していました。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

私は4つの学位と、校長の資格、音楽教員免許、カウンセラー資格を持っています。

● あなたにとって一番の宝物は？

セルマーマーク6のサクソです。

● ご自分を言葉で表現すると？

他人を思いやり、真の生涯学習者であり、熱意ある教育者であり、これをライフワークとしたいと思っています。

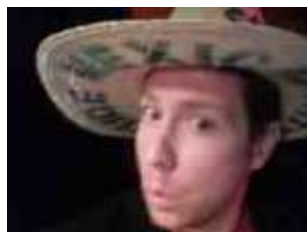
● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

修士課程を終えたら、心理学のPhD (博士号)取得を目指して引き続き勉強したいです。

● 自分を高めるために今やっていることは？

精神的にも身体的にも常に向上を目指しています。週に数回ヨガをして、何事にもポジティブな心をキープしています。

● ファンに一言お願いします。



Mr Fishman ファンの方へ、KISTに来て本当にわくわくしています。お手伝いが必要なときはどうぞ、いつでも遠慮なく、私のオフィスに来てください。セカンダリービルディング3階部屋番号313です。

オフィスから

School fees

昨年度から引き続き在校されているお子さんの授業料支払締切日は9月15日でした。すでに締切日を過ぎていきますので、まだお支払いいただいていない方は至急お願いいたします。今年新たに入校されたお子さんの支払締切日は10月15日です。諸般の事情でお支払日の延期をご希望の方は、必ず締切日前までに学校経理部にご連絡の上、ご相談ください。事前連絡なく支払が遅れた場合は、延滞料2,000円が発生します。本年度は、経理部からの請求書は年に一回しか発行いたしません。学費の分割払いを選択された方には、その請求書に記された金額を毎回所定の日にちまでにお支払ください。スクールランチとスクールバスの料金については、引き続き別の請求書をその都度お送りいたします。

School hours

学校での生徒の監督は8:15 a.m.からです。生徒はこの時間前には登校しないでください。雨の日は、この時間から始業時間まで、セカンダリー生徒は体育館とオフィス前のデッキエリア、エレメンタリー生徒は多目的室で過ごすことができます。下校時間は3:30 p.m.です。教員が監督している場合、アフタースクールクラブに参加、または、図書館で勉強している生徒以外は3:30pmに学校から退出しなければなりません。

Student ID cards – reminders

- G1以上の生徒は、学校敷地内へ出入りの際、かならずゲートで自分のIDカードをスキャンしなければなりません。ゲートがたとえ開いていても、必ずスキャンしてください。ゲートのスキャン記録が生徒の出欠の証明に使われます。
- カードが壊れた場合は直ちに交換が必要です。
- 一回に一枚ずつしかスキャンできません。
- K1からK3の生徒のカードは生徒本人は使用できません。保護者の方が使用してください。お子さんに手渡したり、お子さんのバッグに入れたりしないでください。

PE uniform policy

- エレメンタリーの生徒は、PEの授業がある日は、PEユニフォームで当校しても構いません。
- セカンダリーの生徒は、正式な制服を着用して登校し、PEユニフォームは持参して学校で着替えなければなりません。ただし、一時間目の授業がPEの日に限っては、家からPEユニフォームを着て登校し、PEのあと制服に着替えることができます。また、最後の授業がPEの場合のみ、PEユニフォームのまま家に帰ることができます。
- 通常のPEの授業には、紺色のポロシャツやスポーツチームのウェアの着用はできません。
- 二日以上続けてPEの授業が組まれている場合には、スペアのPEウェアを確保してください。

KISTival 2011

スクールフェスティバルKISTivalが10月15日(土)に行われます。この年一回の行事は年間を通してもっとも大きな資金集めイベントでもあり、学校のスタッフ、保護者、生徒の大変な努力と働きで実現しています。今年の利益は学校の図書室とECEプレイグラウンドの改良資金に充てます。また、地震支援のため、利益の数パーセントを東北地域に寄付する予定です。



フェスティバルの詳細については、追ってお知らせいたしますが、その間に今年どんなコスチュームを着ようかを考え始めることをお忘れなく！

KISTivalの成功は保護者の方のサポートに大いにかかっています。特にさまざまなブースやアクティビティーは各クラスペアレンツが中心となって行っています。ですので、まだクラスペアレンツが決まっていないクラスがありましたら、どうぞ積極的に手を挙げて、至急オフィスに連絡し、ご興味があることをお伝えください。

2011入学説明会

2012 - 2013年度向け

KISTでは2012 - 2013年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタッフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 1, 2011 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

September 31, 2011(Friday)

要予約です!

www.kist.ed.jp

IT Office News



KIST はケーススタディーとしてマイクロソフトのウェブに紹介されました。

昨年度末、ITオフィスはG5の教員と協力してGrade 5 PYP エキシビションのための特別Moodleサイトを Live@edu と Moodle を統合して作りました。



マイクロソフト日本は、これを受けて学校の授業と最終のエキシビションを見に来ました。G5 生徒の作品の質の高さや発表の熱意に大変感動したマイクロソフト日本は、Moodleと Live@edu

がいかに生徒の学習を向上させるのに役に立つかという具体例として KISTの取り組みを紹介することにしました。

このケーススタディーの全容については次のサイトでご覧になれます。

<http://www.microsoft.com/japan/showcase/kist.msp>

PDF の日本語版、英語版も下のリンクからダウンロードすることができます。

[Case Study Japanese](#) / [Case Study English](#)

現在日本で、このレベルの統合と適応を幼稚園から高校まで行っているのは KISTのみで、普通は大学レベルでしか見られません。

G5 の生徒（現 G6）の大変な努力のおかげで、私たちは今年のKIST Moodleサイトを Live@edu と連携した

新しいものに組み直し、学校全体に提供できるようになりました。

Live@edu 発表会が行われています！ IT Office IT オフィスはLive@eduの発表会を行っています。

Live@edu (と Moodle) は承諾書が揃ったクラスから随時使用を開始します。新年度保護者説明会でご説明したとおり、Live@edu を学校の新たなコミュニケーションプラットフォームとして使用し、学校からのメールやカレンダーシステムのほか、Moodle や Destiny 図書カタログシステムなどすべてが一つのログインで可能になります。

Live@eduの英語と日本語の研修会を下記のとおり行います。

"Live@edu Training Sessions"
September 20 (Tuesday): 6:30 – 8:00 p.m.
September 21 (Wednesday): 10:00 – 11:30 a.m.
September 22 (Thursday): 6:30 – 8:00 p.m.
English: Main Bldg. 3F, Technology Lab
Japanese: Main Bldg 2F, Library Media Center
RESERVATIONS REQUIRED!

研修会に出席されたい方はRob Whittaker までメールでお知らせください。robert.whittaker@kist.ed.jp. 何日どのセッションかのご記入をお忘れなく。

新システムへの完全移行開始日を10月3日予定しております。この日からは学校からのメールはすべてKIST Live@edu アドレスにのみ送られますのでご注意ください。

これから数週間KIST Contactsからさらに情報をお届けいたしますのでご確認ください。

KIST IT Office

Secondary SRC

セカンダリー生徒会 (SRC) は、2011-2012 年度皆様をわくわくしてお迎えいたします。今年も楽しくて実りある年にしたいと思います。

今月中にホームルーム選挙を行い、クラス代表を選びます。詳細は追ってお知らせします。

それまで何かご心配やご提案などがありましたら、私にご連絡ください。

Kevin Murphy
SRC Advisor



Frank (G12), Monica (G11C), Ryosuke (G12) and Airi (G11B) with advisor, Mr Murphy.

2011-2012年度生徒会役員

会長： **Frank (G12)**
 副会長： **Ryosuke (G12)**
 会計： **Monica (G11C)**
 書記： **Airi (G11B)**

KIST Group 4 Project 2011

It's a Gas

グループ4プロジェクトはディプロマプログラムでサイエンスを勉強している生徒が必ず参加しなければならない教科の枠を超えたアクティビティーです。グループ4プロジェクトは最後の年の6月までにするものですが、今年の12年生は、11年生のうちに終わらせてしまいました。合計10時間を費やさなければならないので、丸二日間はプロジェクト4にかかりっきりでした。この目的は、グループ4のそれぞれのサイエンス科目を勉強している生徒が共通のトピックまたは問題に取り組み、教科を超えたコンセプトや観点で分析し、サイエンスの学問分野間の関係を理解し、科学的方法の包括的な特質を共有することです。

生徒はグループ4プロジェクトで科学技術の環境的、社会的、倫理的意義を学びます。と同時に、科学的研究の限界についても理解することができるでしょう。例えば、適切なデータの不足やリソースの不備などです。ここでは、最終結果よりも科学的調査のプロセスを強調します。ですから、生徒は協働して作業をする機会を与えられ、教員は生徒のチームワーク

の場での対人能力や、モチベーション、自己認識を評価することができます。

ひとつのグループに主要分野：生物、化学、物理の生徒が入っているのが理想的です。グループのメンバーを決めるためにこれがまず優先されます。二番目はできるだけ男女、能力、レベル (SL/HL) が混在していること。最後に、対人能力の評価もあることから、ふだんほとんど付き合いのない（つまり、友達でない！）生徒をグループにします。

2011年のトピックは "It's a Gas." でした。生徒たちは一つ以上のガスについて調査研究をしました。トピックには細胞呼吸、温室効果、酸素センサーへの温度の影響、ボイル・シャルルの法則、気候変動が含まれていました。生徒の調査研究のほとんどは今年購入したばかりの新しいリソースがなければできないものでした。全グループが難しい問題にタックルし、洗練された道具を使用して複雑にデザインした実験を行いました。

ほとんどのケースで、生徒は、プロジェクトのデザイン、データ集め、データ処理、結論、評価でいくつものエラーを出しました。プロジェクトと良く知らない分野に、限られた時間を配分しなければならないというプレッシャーからもこれは十分予測されるものでした。でも、ほとんどのグループがプロジェクトの全体的な目標に焦点をあてることができ、発表では、科学的調査の性質についての考察や、実生活への応用、関与が含まれていました。ということから、2011年度のグループ4プロジェクトは大成功といえます。生徒のみんなよく頑張ったね。努力に感謝します。さて、いよいよ君たちも12年生という最終学年に入りました。今年はさらにたくさんのチャレンジが待ち構えています。でも、もうそれに取り組んでいくための準備ができていることが証明されています。幸運を祈る。

Andrew Young
Subject Area Coordinator: Science



Brain Humanities in Borneo

Taisei のマレーシアボランティア記



この夏、僕はマレーシア、ボルネオ島で8月5日から12日までの8日間植林ボランティアに参加する機会がありました。このボランティア活動はブレインヒューマニティという関西を拠点に活動しているNPO法人が主催したものです。この植林活動に参加したのは30名程の関西や関東の中高生達でした。ブレインヒューマニティは主に大学生によって

運営されており僕らの様な元気な中高生の助けが必要な地域で活動しています。最初に植樹する為の苗木を買う必要がありましたが、これらを購入する為の資金は参加者である中高生が入手方法を考えなくては行けません。そこで参加者同士で考え合った結果、街頭募金活動という答えができました。僕は一人で往復夜行バスに乗り、現地に行き、5日間かけて募金活動で使うポスターなどを作ったり、現地で使うマレー語の研修を受けたり、向こうの小学校を訪問した時に歌う唄や踊りをみんなで練習して、帰ってきました。これから一緒にボルネオに同行する仲間と初めて会うのを楽しみに一人きりで神戸に向かいました。神戸で集合場所に着いた時、ほっとしたのを思い出します。そして兵庫県の三宮駅前、沢山の親切な人から頂いた募金は、全て苗木代に使われました。全ての準備が整った後、参加者はボルネオ島のコタキナバルという最大の街に飛行機で向かいました。僕の場合、まず羽田空港から関西国際空港まで国内線、そして関空からマレーシアの首都であるクアラ Lumpur まで国際線で行きマレーシアの国内線でボルネオへ向かい現地に着いたのは深夜でした。ボルネオ島ではジャングルの村でのホームステイ、自ら資金を集めた苗木を植え、そして現地の人と触れ合い助け合う事で多くの経験を得ました。そういった体験を通して僕は異国の地で多くの人に支えられました。本家の家族の様に接してくれたホストファミリーのご家族、陽気に笑わせてくれて親切にしてくれた村人の方々、行動力があり思いやりのある素晴らしいスタッフの皆さんそしてチャレンジ精神の溢れた参加者の皆に心から感謝したいです。これらの支えと優しさから僕は多くの事を学びました。ボルネオで僕は、現代の電気やガスがある便利な社会を知らずに生きていて、飲料水も雨水に頼る生活をしている人達に出会いました。僕らが無駄に使うようなシャワーやお風呂を彼らは浴びたことがありません、子供達は流行りのゲームを知りません、熱帯夜をエアコンや扇風機、ましてや冷蔵庫もなく過ごし、眠る時は蠟燭を使います。しかしボルネオの村人たちは便利な近代社会を生きる僕らよりも生きることにとって大切な物を知っているかもしれません。ボルネオの

人々は思いやりの気持ちを持ち、差別や偏見を嫌い、新しい事を学ぶことに意欲的で毎日の生活の為に働いています。そして参加者の日本の中高生に自然の力強さ、儚さそして上手く共生していく術を教えてくださいました。ボルネオの村人たちと暮らし、話し、笑い、そして食卓を囲んでいく内に僕は自分の中で何かが変わって行くのを感じました。精神面で強くなりボルネオの人達の様子のんびりと平和的に物事を考えたりするようになり、彼らが大切に自然



への親しみが芽生えました。僕はボルネオの村人たちが生きることの楽しさや希望の持ち方を知っていると思っています。このボランティア活動で僕は大事で大切な多くの事を学んで、これらは僕の人生を変えました。僕はKISTの生徒に日常を飛び出して色々な世界を見に行くことを強くお勧めします、何故ならもしかするとその先に人生を変える出来事や出会いが待っているかもしれないからです。

Taisei (G6A)

PYP News

新学年度がはじまりました。久しぶりの登校を待ちきれずにいる子ども達の姿、友達との再会、また新しいクラスを楽しみにする様子などいきいきとした表情がみられました。クラスでは、すでにたくさんの学び、気づきがみられ、今年度、KISTで子ども達、教員・スタッフ、保護者の皆様と多くの学習の機会を共にすることができるのを楽しみにしています。



Ms Heard

はじめに少し、私のことについてお話させていただきます。アメリカ、シアトル出身で、Western Washington UniversityにてK-8の教員資格を取得後、ここ8年間は海外で教員をしておりました。昨年までは香港のHong Kong AcademyにてGrade 2とKindergarten、およびUpper Primary Coordinatorをしておりました。また、そのかわり、Lehigh UniversityにてEducational Leadershipの修士号も取得しました。5年間のPYPでの教育経験をPYPコーディネーターとしていかすことができたらと思っています。

お子さんの学年のカリキュラムにつきましてはMoodle内、探究のプログラムのページにてご確認ください。近日中には年間計画も公開される予定となっておりますのでそちらもあわせてごらんいただければと思います。なお、探究のプログラムにつきましてはエレメンタリースクールロビーにも掲示させていただいています。9月28日(水)には新入生の保護者の方、またPYPの基本的な内容につきまして今一度ご確認されたい方を対象としたインフォメーションセッションを予定しています。午後6時よりMPR(受付向かいとなります)にて行いますのでどうぞご参加ください。

Elizabeth Heard
PYP Coordinator

****日程が変更となりましたので
ご確認ください****
"PYPインフォメーションセッション#1"
9月28日(水) 午後6時より

PE and Sports News

KIST 保健体育部門の2011/2012年度は新しい顔、新しいアイデアと情熱的な教育とコーチングではじまりました。体育の授業はPYPとMYPで引き続き行われ、DPの生徒も活動的で健康であるよう指導します。

授業では体育のフィットネスという側面を特に強調していきます。フィットネスの5つのパラメーターは、上半身の強さ、下半身の強さ、柔軟性、心臓血管フィットネス、そしてスピード/敏捷性で、毎日の授業に取り入れます。さまざまなスポーツのスキル、ルール、基本、テクニックは生徒の知識を増やします。11月8日行われるKIST Inter-House Cross Countryに間に合うように年度の早い段階でクロスカントリーに焦点をあてる予定です。

スポーツや競争は学校のカリキュラムをサポートするもので、生徒にチームで活動する機会を与えます。スポーツマンシップ、フェアプレイ精神、チームや個人の向上のために特化したトレーニング

が、資格と経験のある教員やスタッフから提供されます。

KISTはInternational Schools Tokyo Athletic Association (ISTAA)のメンバーであり、東京にある他のインターナショナルスクールと関東リーグを組んでいます。学期に合わせ、秋、冬、春の3シーズンがあります。スケジュールは各シーズンごとに決められます。

どうぞ息子さんや娘さんがKISTでの試合や練習に参加しているのを見に来てください。保健体育部門に関することやスポーツ、クラブに関するご質問も歓迎します。



Mr Erber



Mr Lee



Mr Leroy

Jim Erber (MYP PE TeacherとAthletics Director)、**Chee Lee** (MYP PE TeacherとPE Subject Area Coordinator)、**Jay Leroy** (PYP PE Teacher) はKISTの一員となれたことをうれしく思います。よろしくお祈りします。



Leap into LEAP

LEAP アフタースクールプログラムが戻ってきました! 昨年度の成功に引き続き2011-2012年度もLEAP (Learning Enhancement Academic Program) は放課後のプログラムを行います。KISTの生徒だけでなく、他のインターナショナルスクール、日本の学校や英語以外の学校の生徒も参加できます。このプログラムは英語と数学の基礎をしっかりと固め、IB ディプロマを成功裏に修得できるよう生徒を指導することを目的としています。

LEAPでは、生徒の学習を最大限サポートするために、生徒対講師/アシスタントの割合を4対1 (レクチャー形式のクラスでは8対1) としています。この少数制をとることで、生徒はひとりひとりのレベ

ルやニーズに合った集中的なサポートを受けることができます。

LEAPの講師やアシスタントには、幼稚園、数学、英語の教員免許を持っている先生、KISTのティーチングアシスタント、一定の基準を満たしているKISTの生徒がいて、各クラスにバランスよく講師とアシスタントを配置しています。

昨年参加した生徒さんをはじめLEAP 2011-2012年度に新たに参加される生徒さんをころから歓迎いたします。

LEAPについてご興味のおありの方はぜひウェブサイトをご覧ください。コースや費用についての詳しい情報が載っています。

<http://www.k-leap.jp>



What is LEAP?

LEAP is an after-school program that provides opportunities for students to develop and improve their academic skills, focusing primarily on developing basic skills in language and mathematics that will transfer to the regular classroom.

Semester 1 Courses

- ◆ K1 - K3 Course (Literacy/ Numeracy)
- ◆ G1 - G2 Course (Language/Math)
- ◆ G1 - G5 Course (Basic Skills Development)
- ◆ G3 - G6 Course (English/Math)
- ◆ G6 - G10 Course (English/Math)
- ◆ G8 - G11 Course (Special Math)

Global Young Leaders Conference

“3...2...1...ようこそ、スカラーの皆さん!”今年の夏6月26日から7月9日の間に私たちRia (G11A), Rishab (G11B), and Monica (G11C) はこれを何回も聞きました。ワシントンDCとニューヨークで行われたGlobal Young Leaders Conference (GYLC) に世界中から来た300人の生徒たちと一緒に参加した時のことです。

GYLC は模擬国連によく似ていました。25人ずつの国グループに分かれ、アドバイザーの先生がひとりついて、会議の間中グループのメンバーがその国を代表します。

私たちはGYLCに参加するのを心待ちにしていたので、到着後早速世界中の生徒と友達になり、リーダーシップ能力を高めることを開始しました。開始後すぐに私たちは GYLC のスケジュールがとても過密で、Leadership Group Meetings で他の各国グループと活発にディベートをしたり、シミュレーションをしたりするだけでなく、参加者同士が交流を持つ時間や、ワシントンDCとニューヨークを探検する時間があり、ちょっとでしたがショッピングの時間までありました。

勉強の方では、ボーイング社とエアバス社に分かれて、貿易政策についてディベートしたり、国連安全保障委員会の委員になったつもりでキプロスの平和、安全保障問題について討論したりしたあと、最後は本当の国連本部の会議場に参加生徒全員が集ま

り、それぞれの国の代表者となってさまざまなグローバルな問題についての決議をするというグローバルサミットが開催されました。

国連代表の代わりをつとめ(というか椅子に座っていただけですが)たり、国連本部を探検し、アメリカ国務省や世界銀行、エリス島、スミソニアン博物館、フランス大使館、サウジアラビア大使館も訪問しました。スミソニアン博物館のホロコースト記念博物館

にも行き、その記憶は私たちの心にしっかり焼き付きました。

国連、国務省、世銀など行く先々で経験豊富なリーダーたちからお話を伺う機会がありました。私たちに話をし、私たちが質問をするという形で。この一連のスピーキングイベントはとても刺激になり、力をもらいました。

勉強以外にもエンターテイメントや楽しいイベントが目白押しで、忙しかったです。ワシントンのナショナルモールを歩き、ホワイトハウスや、ニューヨークの自由の女神で写真を撮り、エンパイアステートビルの86階の展望場からニューヨークを見渡したり、NBCスタジオ見学をしたり。友達になったばかりの仲間と一緒にタイムズスクウェアや、五番街を歩いたり、ブロードウェイのショーを観たり、7月4日の独立記念日のアウトドア食事会にでたり、自分たちだけの GYLC オリジナルで戦ったり。最後の日はディナークルーズに参加しました。どの瞬

間も新しいことばかりでとてもエキサイティングな経験でした。



すべてが記憶に残る瞬間でしたが、Riaの一番のお気に入りには、リーダーシップグループミーティング (LGM)で時間がたつにつれて、グループのメンバーのそれぞれのバックグラウンドを知ることができたことです。Rishabも同意見で、特にLGMでの文化交流イベントが好きだと言っています。そのイベントではメンバーひとりひとりが自分の祖国のことを紹介したので、どんなバックグラウンドをもち、どのような文化や伝統を守っているのかを知ることができたからです。LGM以外でMonicaのお気に入りには国連本部を探検したことです。GYLCは年世界中の15-19歳の若者のために年数回行われます。選ばれた生徒がアメリカ、中国、ヨーロッパでの会議に参加します。詳しくは<http://www.cylc.org/gylc/>をぜひご覧ください。

Monica (G11C), Ria (G11A) and Rishab (G11B)



ISA Testing

今年もG3,G5,G7とG9がThe International Schools Assessment (ISA)を受けます。試験は10月13日に行います。ISAは、インターナショナルスクールに在籍する生徒の読む力、書く力、数学力のそれぞれのスキルをはかるテストです。ISAは国際的に使われているOECDのProgramme for International Student Assessment (PISA)の読みと数学リテラシーの枠組みをもとにしています。このテストは毎年世界中の200以上の学校で行われています。お子さんの結果はセメスター1の終わりが保護者の方にお届けします。



Asian Science Camp 2011

夏休みの期間中、12年生のケイとフランクが韓国先進科学技術研究所 (KAIST) で行われたアジアサイエンスキャンプという7日間のプログラムに参加しました。

アジアの19か国から総勢212名の生徒が招待され、小林誠氏 (2008年ノーベル物理学賞受賞者)、Aaron Ciechanover氏 (2004年ノーベル化学賞受賞者)、小柴昌俊氏 (2002年ノーベル物理学賞受賞者) その他のワールドクラスの科学者の講義を聴くなど、いろいろなアクティビティを体験しました。

プログラムは、全員出席の講義、授業、独創的ポスターコンペ、韓国最大の科学研究所訪問の4つの主たるアクティビティで構成されていました。

10名の大学生と10名の高校生が、学校における学業成績、科学担当教師の推薦状、英語による出願エッセイを基に日本科学技術振興機構 (JST) によって選考され、日本を代表して派遣されました。

費用はKAISTとJSTが負担しました。

「ノーベル賞受賞者やその他の偉大な科学者の話を聞いたり、質問をすることでアイデアを得るというお金で買えない貴重な機会を持てたので、アジアサイエンスキャンプは私の人生における得難い経験となりました。想像を掻き立てる講義と共に、そこで出会った友達はとても理知的で熱意に溢れていました。彼らと科学について話し合い、問題点を分かち合うのはとても面白かったです。日本人参加者20人の内4人が過去に国際科学オリンピックでメダルを獲得していると聞いたのは驚きでした。将来物理の教師になりたいと願う生徒として、私にとってこの夏休みの偉大な経験はDPでもっと頑張ろうという動機づけになりました。世の中には高い潜在能力を持った若者がたくさんいることが分かったからです。」
(Kei, G12)



Kei with 2008 Nobel laureate, Makoto Kobayashi



Yubo with 2004 Nobel laureate, Prof. Aaron Ciechanover

「今年韓国で行われたアジアサイエンスキャンプは科学者志願の私にとって本当に一生に一度の経験でした。著名な大学教授、IBMフェロー、そしてもちろんノーベル賞受賞者たちと高校時代にこのように間近に接するなど夢にも思いませんでした。また、彼らのほとんどは大学の学士課程の学生で科学のいろいろな異なる分野を学んでいましたので、アジア大陸の19か国からの参加者と共に学び、協力出来たことも身に余る光栄でした。私はこのサマーキャンプに大きな刺激を受けました。そしてKISTの科学指向のDP生徒に来年違う場所で行われるであろうアジアサイエンスキャンプに出願するように勧めたいと思います。」
(Yubo, G12)

Truly International

今年のKISTの生徒の国籍は43か国であり、以下の通りです。

アメリカ、オーストラリア、バングラディッシュ、ブラジル、イギリス、カナダ、中国、デンマーク、エジプト、フィリピン、ドイツ、インド、インドネシア、イラン、イスラエル、イタリア、コートジボアール、日本、韓国、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ニュージーランド、ニカラグア、ノルウェー、パキスタン、パナマ、ペルー、ポーランド、ルーマニア、ロシア、エルサルバドル、セネガル、セルビア、シンガポール、南アフリカ、スリランカ、スウェーデン、台湾、タイ、トルコ、ウガンダ

スタッフの国籍は15か国、以下の通りです。

アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダ、クロアチア、フィリピン、フランス、インド、日本、マレーシア、ニュージーランド、ポーランド、エルサルバドル、ウクライナ、ウズベキスタン



A Taste of University

Carmina Mancenon は2010年度 KIST 卒業生です。彼女は現在プリンストン大学2年生で、オペレーションリサーチ、ファイナンシャルエンジニアリングを専攻し、環境研究のサーティフィケートコースにも取り組んでいます。

プリンストンでの最初の秋学期、ライティングセミナーで教授からペーパーはまずメタファーから、または少なくとも内容のエッセンスを伝えるようなセンテンスから書き始めるように、というアドバイスを受けました。この一年を振り返る今、アドバイスどおりに書けるかどうかわかりません。

KISTのプライマリー/ミドル/ハイスクールの生徒の皆さんは、大学ってどんなところ？と思いませんか。私もそうでした。A Cinderella StoryのHilary Duff? Beautiful MindのJohn Nash? プリンストンに着いたとき私は何も期待していませんでした。Fitzgeraldの This Side of Paradise みたい？私のプリンストンでの最初の数週間で私はこの年が、たくさんの「初めて」の年になると確信しました。まず、3週間という長さのオリエンテーション期間。1週間のインターナショナルオリエンテーション、次の週はアウトドアアクション、最後は 新入生ウイーク。この最初の3週間で、すでに私はたくさんの「初めて」を経験しました。最高に美しいキャンパス。カヌー。シャワーもトイレもない森の中の7日間のハイキングキャンプ。毎食アイスクリームを食べられるから食べてしまう。ヒップホップダンス教室。学期が進むにつれてこのリストはどんどん長くなりました。高校のころにはその存在さえ知らなかったようなプロジェクトにも参加しました。海外の市民活動を推進している大学評議会Pace Council for Civic Valuesに参加し、the International Student Association のCo-Social Chairに選ばれ、the Princeton Sustainable Fashion Initiativeを友人と一緒に立ち上げました。この夏には、南アフリカのZithulele村で2か月半を過ごし、プリンストン大学がスポンサーしている農村地域健康調査プロジェクトに参加しました。素敵な人々や、現地語(YouTubeで'Xhosa'を見てください)に出会い、素晴らしい景色をたのoshしました。Zithulele では、私がしたこと比べられないほどたくさんのことを得られました。

今、私はシカゴ中心部のアパートの一室でこれを書いています。5週間滞在し、医療ファッション関係の会社でビジネスシステムマネジメントのインターンをしながら、シカゴ市内を探検しています。プリンストン大学は常に私を驚かし続けてくれます。

生徒は3つの選択肢のうち2つしか同時には選べない、とよく言われています。勉強か遊び(社交)か睡眠か。これはIB 生活を一言で言い表したものと私は思っていました(MYP、PYP、ECE の皆さん、私の言ってることがどういふことかそのうちにきっとわかるわよ！)



が、今では私は大学生活はそれどころではないことがわかりました。大学生としての一日は、まるで一週間すごしたように感じる場合があります。学期はじめに自分の時間割を見たとき、「木曜日には2時間しか授業がない？やったー！」と思うかもしれませんが、が実はグループプロジェクト、課外活動のミーティング、教授のオフィスアワー時間内に会いに行くこと、試験準備、パートタイムの仕事、とどれもこれもやりたいことがいっぱい。もちろん昼寝や仮眠もね。AppleのiCalendar があって本当に良かったと思うけれど、Sonia Sotomayor のレクチャーに行くべきか、ルームメートのダンスパフォーマンスを見に行くべきか、プリンストン大学がスポンサーしている映画を近くの映画館に行って観るべきか、寮仲間と過ごすべきか、数学の課題を終わらせるべきか？(興味のある方に言うておきますが、その時の正しい答えは最後の選択肢でしたが、実際には、それは2番目にする事になってしまいました。)

初対面の人に会い、握手をし、初めての経験をしている一方で、私は親しい人との心地よい交流も楽しんでます。週末にSkype で両親と話をしたり、ペンシルベニア大学ウオートンスクールに親友を訪ねて行ったり(Hi, Soo Min Hwang!)することは何事にも替えられない楽しみです。1か月半前には、1年前に私がさよならを言った KISTIに行きました。

生徒や、先生、ガイダンスカウンセラー、スタッフの懐かしい笑顔や声が、KISTがどんなに特別で愛しいところだったかを思い出させてくれました。自分にとってこれからもずっと変わることのないものがいくつかあると思います。私にとってはKISTは本当にその一つです。

人それぞれですから、私のように寮に住む人もいれば、キャンパスの外の家に住んだり、親の家に住む人もいるでしょう。一番大切なのは、自分の経験、それは高校でも大学でも、を得る方法を探すことだと思います。自分のやりたいことを！結局私の一年を一言で表すメタファーやセンテンスをみつけられませんでした。でも皆さんに関係するフレーズをひとつだけ：がんばってね！

Carmina Mancenon
KIST Alumnus, "Class of 2010"



Carminaについてさらに知りたい方は下記をご覧ください。

http://www.princeton.edu/admission/whatsdistinctive/studentprofiles/mancenon_carmina_14/